いきいきまえばし人 PEOPLE

JOC ジュニアオリンピック３位
長谷川　美玲さん・16 歳
下細井町

力ではなく強い意志で登り続ける

8月に富山県で行われた第10回JOCジュニアオリンピックカップ大会スポーツクライミング競技・17歳以下のユースAで3位に入賞した。

「今回はレベルが高かったです。でも、自分なりに頑張って全力を出し切り、日ごろの練習の成果が出せたと思います」

この競技は、壁に作られた困難なルートを墜落しないで、決められた時間内にどこまで登れるかを競う。安全確保のため体にロープを巻き、そのロープを順々にボルトに掛けながらゴールを目指す。

「登る壁は試合ごとに変わり、競技開始前に選手が6分間ルートを下見します。触ることもできないので、頭の中でどう登るかイメージすることが大切なんです」

現在、前女高2年で山岳部に所属する。小5の時に父親に誘われ、クライミングに出会った。高校に入り、より本格的に。

「この競技は腕や足の力ではなく、体のバランスと重心をどう使うかが重要。力を抜き、上まで行こうという強い意志が必要かな」

今月、秋田県で行われる国体少年女子の本県代表メンバーでもあり、これに照準を合わせ夜遅くまで練習に励んでいる。

「勉強と運動の両立は大変。でも、クラスのみんなの顔を見ると、疲れも忘れて頑張れるんです」

合間をみて読書をするのも好きだという。時間をうまく使い分け、多くのことを吸収しようとする姿に、しんの強さを感じた。

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩（うた）のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

❀入選 さかな

滝窪小金丸分校6年
岸野　奈穂子さん

ぼくはさかな
ぼくの友達はみーんな人に
とられる
でもさみしくなんかない
なぜなら天国いった友達は
ゆめの中にあらわれていろんな
はなしをしてくれる
そのはなしはいろいろ
さかなぎらいの子どもに食べられた友達は
かわいそうなことに残される
その残った部分はすてられるらしい
さかなが大好きネコに食べられると
うれしいらしい
なぜなら残らない
みごとにほねだけになるらしい
ぼくも食べられるなら「ネコ」がいい
ぼくはこのゆめをみて思った
「ネコはやさしいなぁ。
死んであげる価値がある」

❀入選 チョウのさなぎ

元総社小3年
中村　侑寛さん

何が出てくるか分からない。
すごくうれしいな。
さなぎがプレゼントみたい。
とてもうれしいプレゼント。
いつ開けてくれるか分からない。
せなかに線が出てきた。
「もうすぐだね」とぼく「たのしみだね」と妹
ひびが大きく出てくる。
せなかがわれてチョウが出てくる。
イナバウアーをしながら。

市政ニュース News

工作や実験の面白さを体験

８月10日から12日まで、前橋工科大こども科学実験教室が前橋テルサで行いました。小中学生に科学の楽しさを知ってもらおうと、実験や工作など15コーナーを開設。子どもたちは教授や学生の指導を受け、奥の深い科学の世界に目を輝かせていました。

夏の思い出を描き上げ

夏休み期間中、児童文化センターではさまざまな夏季教室を開催しました。「牛の絵を描こう」では、目の前で草をはみ、鼻息を荒げる牛に子どもたちは大興奮。その迫力を画用紙いっぱいに表現し、思い出に残る１枚を完成させました。

夜空に大輪の花が咲く

前橋花火大会を8月11日、大渡橋付近の利根川で開催しました。8号玉連発やスターマイン、空中ナイアガラなど1万5，000発を打ち上げ。趣向を凝らした鮮やかな花火に観客は魅了されていました。

悲惨な戦争を忘れないため

前橋空襲パネル展が８月６日から16日まで、市役所１階市民ロビーで行いました。当時の様子を物語る写真パネル25枚を展示。訪れた人たちは、がれきと化した市街地の写真や体験文などを熱心に見ていました。